

大区画有機稲作水田でスマート農業技術の現地実証試験を実施！

～「いすみっこ」生産での水管理や雑草管理の省力化を目指して～

夷隅農業事務所改良普及課 令和6年11月15日発

いすみ市では、化学合成農薬・化学肥料不使用の「コシヒカリ」である「いすみっこ」生産の大規模農家への波及を目指していますが、1ha規模の大区画水田では高低差が大きいため抑草に必須の深水管理が十分に行えず、雑草多発による減収が課題となっています。

そこで農業事務所では、レーザーレベラーで均平にした有機稲作水田における、ほ場水管理システムの導入効果と、自動抑草ロボットによる雑草対策の現地実証試験を実施しました。5月17日には抑草技術の実演会（参加者50名）を開催し、実証試験の結果については、10月25日の検討会（参加者26名）で共有を図りました。

実証試験により、ほ場水管理システムで水管理作業時間の削減につながった一方、雑草多発田では、水田除草機での追加除草の必要性が明確になりました。農業事務所では省力雑草管理技術のマニュアル化を目指し、次年度も市と連携して更なる検証を実施予定です。



有機稲作ほ場での実演会の様子（5月17日）



実証結果の共有の様子（10月25日）